

# 平成27年度胎内市図工・美術部 活動報告

部長 天木 美恵子

## 1 研究主題

生き生きと創造活動をする子どもの育成を目指して

## 2 研究内容の概要

- (1) 第1回部会「活動計画立案」
- (2) 第2回部会「実技講習会」
- (3) 第3回部会「授業研修 実践交流」

## 3 研究の実際

- (1) 第1回部会「活動計画立案」会場 築地小学校 16:00～ 参加者 9人
- (2) 第2回部会「実技講習会」会場 築地小学校 9:00～ 参加者 8人

- ① 実技講習 「デザイン 平面構成」
- ② 講師 伊藤 智志 様 (胎内市立中城中学校教諭)
- ③ 概略

- ・中学校のデザインの題材である「平面構成」に取り組んだ。  
平面構成は、配色、形（構成）を工夫して制作する。
- ・具体的な形から、抽象へ移行する。
- ・指導者が様々な技法を経験することが大切である。
- ・鑑賞をさせる際は、何について見させるのかポイントを絞る。



- (3) 第3回部会「授業研修 実践交流」会場 胎内小学校 14:00～ 参加者 9人

- ① 授業者 本間 陽子 教諭 (胎内小学校)
- ② 題材名 「カードで思いを伝えよう」
- ③ ねらい カードの作品に親しみをもちながら、自分なりの見方や感じ方を簡単な文で書いたり、カルタ遊びを通して、友達の思いを聞き、自分と友達の感じ方の同異に気付いたりしながら、作品への思いを深めることができる。
- ④ 参観後の感想・意見
  - ・アートカードの鑑賞は、机の上でたくさんの絵を鑑賞できる良い題材である。
  - ・マッチングゲームは、自分はこう思っているけど他の人は違う感じ方をしているなど、いろいろな見方があることに気付かせることができる。
  - ・絵をじっくり見る、言葉で表現する、認めてもらえるということが、次の意欲につながる。
  - ・参観している先生方に自分が気に入った絵の好きな理由を伝える活動は、場の設定としてよかった。
  - ・鑑賞は、小さい頃から段階を追って積み重ねていくことが大切である。
- ⑤ 実践交流
  - ・小学校低学年から中学生までの作品について指導法について交流したり、作品を鑑賞したりすることができ、小中学校で行われている図工・美術のつながりを垣間見ることができた。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

- ・子ども一人一人の表現を大切にするためには、教師自身の技法の蓄積が不可欠であり、講習会はそのよい機会となった。
- ・授業研修では、意見交流の場を提案していただき、意見交流のための大切なことについて理解を深めることができた。

### (2) 課題

- ・学んだ技法を、子どもの思いを表現させるために、いかに生かしていくかが大切である。実際に効果的に使われている作品をより多く鑑賞し、様々な視点から作品を見る目を養うことも必要である。